

\\ 福島市役所は育児支援にも力を入れています! //

大好きな子どもとの
大切な時間を一緒に

8年目(平成28年度採用)

都市計画課

遠藤 純也

(土木職)

取得した支援制度 ※1時間単位で休暇取得ができます。

支援制度	取得できる期間	取得日数
出産補助休暇*	配偶者の出産に伴う入院の日から出産後2日間	3日
育児参加のための休暇*	出産予定日の8週間前から子が1歳になるまで	1日5時間
育児休業	対象となる子が3歳になるまでの期間	12日

育児休業を取得して良かった点は、今しかない子どもの成長を近くで感じることができた点です。期間中は、育児や家事全般などを行いました。家族と一緒に過ごす時間が長くなることで育児や家事の大変さや難しさを感じたと同時に、妻への感謝を実感しました。改めて育児は夫婦で協力しないといけないと思いました。

福島市役所は建前だけの制度ではなく、実際に制度を利用できる環境や雰囲気が整っていることが魅力です。育児休業に入る際や復帰する際はもちろん、子どもの体調が悪化し急遽休みを取るようになった際にも職場の方々にフォローしていただき安心して休むことができました。

仕事と育児の両立は大変で、子どもの具合が悪くなって予定通り仕事を進めることができない時があります。両立するために、達成すべき目標に向かい、仕事の先を見越して、メリハリのある生活を続けていきたいと考えています。



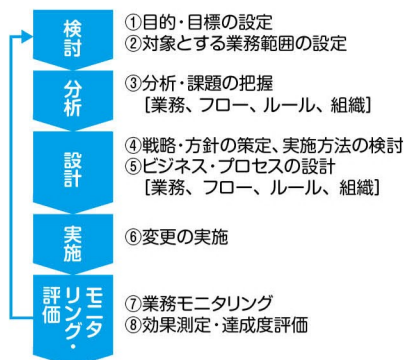
\\ 徹底したコスト意識と業務改革(BPR)の取り組み //

5つの職員改革マインドをかがいで、業務改善に取り組んでいます



- 一、職員自らが「改革」する
- 一、市民の利便性の向上と職員自らの負担軽減を意識する
- 一、前例に捉われることなく、やり方を見直す
- 一、制度そのものを変える姿勢をもつ
- 一、まずはやってみて、それから見直しを繰り返す

BPRサイクル



福島市役所では、従来の仕事のやり方に捉われず、常に改善を意識して業務の進め方を見直す「業務改革(BPR(Business Process Re-engineering))」の取り組みを進めています。

市民の皆さんにとって、もっと便利な方法はないかを意識しながら、全ての所属がそれぞれ目標を設定して改善に取り組んでいます。

令和5年は職員から123件の
改善提案がありました!

(業務改革の例:市民が参加する会議等での紙資料の配布廃止)

「かえるチャレンジ(通称:かえチャレ)」

職員自らが工夫をして業務の改善に取り組んだ内容を募集し、優れた事例は表彰したり、結果を共有したりして、職員一人ひとりのやりがいにつなげています。

かえるチャレンジで月間賞に選ばれた
取り組みはHPに公開中。
ぜひ見てね!



▲かえるチャレンジにより表彰されました



福島市役所 人事課

〒960-8601 福島県福島市五老内町3-1

☎024-525-3703 (直通)

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp>

JR福島駅より福島交通市内循環バス 福島市役所前下車



詳しい
採用情報はこちら
をCheck!



令和6年度実施

福島市 職員募集パンフレット

Fukushima city staff
Recruitment pamphlet



大好きな
福島市で働きたい





危機管理室 計画係

小野 伊央里 11年目(平成25年度採用)

福島市の危機管理と
防災力の向上に
取り組めます

担当している業務は？

災害発生時に市民が適切な行動をとれるように、平常時から防災意識の醸成と危機対応力の向上を目指しながら啓発事業に取り組んでいます。市民の命を災害から守り、災害による被害を軽減するため、防災業務の基礎となる地域防災計画を見直しています。

仕事で大変なことは？

多岐にわたって業務があり、これまでに得た知識や経験が通用しない時もあり、苦労しました。大変なこともありますが、近年、大規模な災害が多発している中で、一人でも多くの命を守るために、状況に応じた対策を考え、行動するというとても重要な仕事にやりがいを感じています。

■業務内容

災害時は対策本部の運営にあたり、災害情報の収集や避難情報の発信等の業務を行っています。また、防災に関する啓発のため、学校や企業等に出向き、体験型の防災メニューや講話を実施しています。

■キャリア(異動履歴)

▷資産税課 4年
▷農業企画課(農業振興室) 5年
▷危機管理室 2年

Schedule

1日の流れ

8:30 室内ミーティング
8:40 事務処理、窓口対応等
10:30 地域防災計画見直しミーティング
12:00 昼休憩
13:00 防災事業ミーティング
15:00 事務処理、窓口対応等
17:15 終業

専門職 行政職



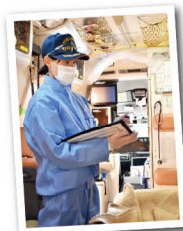
福島南消防署

消防士 大野 栞 3年目(令和3年度採用)

かけがえのない市民の
命を守ります

担当している業務は？

火災予防の指導や予防査察を行うことにより、災害を未然に防ぐこと、被害を最小限に抑えることを目的としています。市民の方が火災の恐ろしさを理解し、少しでも減災になるように業務にあたっています。



入庁したきっかけは？

東日本大震災や台風19号で実際に被災したことから、生まれ育った福島市に少しでも安全で安心な暮らしを消防という職業から提供したいと思い志願しました。



仕事で大変なことは？

即時の判断を求められる時があるので、経験が浅い分活動に余裕が無くなり、周りが見えなくなってしまうことがあります。そのため、日ごろから先輩消防士の対応や行動を見て学ぶようにしています。

仕事のやりがいはどこなところ？

人が困った時に助けられる、手を差し伸べられる職業であるが故に危険を伴う現場もあります。緊急性が高い事業は緊張感やプレッシャーも大きくありますが、その分誇りとやりがいをもって働くことができます。

職員 Interview

“大好きな福島市”で働く職員を
行政職と専門職から2名ずつ、
1日の流れなどを含め紹介します。

■業務内容

戸籍の届出の内容に誤りがないかなどの確認や最終的に記載内容を確定する戸籍の決裁処理を行っています。そのほか、法務局で開催している戸籍研究月例会に参加し、戸籍に関する特殊事例や処理する上での注意点を勉強したり、法務局や他市町村と情報共有を行っています。

■キャリア(異動履歴)

▷長寿福祉課 3年
▷市民課 2年

Schedule

1日の流れ

8:30 業務開始・係内ミーティング
8:45 メールチェック
9:00 問い合わせ電話対応・事務処理
12:00 昼休憩
13:00 法務局での月例会参加
15:30 コンビニからの申請状況確認
16:00 戸籍の決裁処理
17:15 終業

法律に基づいて適切に
処理・審査を行います



市民・文化スポーツ部 市民課 戸籍係

野崎 萌依 5年目(平成31年度採用)

担当している業務は？

戸籍は、出生してから死亡するまでの身分関係を登録し、公に証明するためのものです。当然、内容に誤りや届出の内容に不備があってはいけないため、慎重に確認する必要があります。判断が難しいケースもありますが、自分で判断せず、上司や同僚、法務局の方などに相談し、処理を行っています。

仕事で大変なことは？

戸籍の届出の中には、特別なケースでどのように対応するか悩むことも多くあり、参考となりそうな本や事例を調べ対応の検討をしています。様々なケースが舞い込んできて、日々新たな学びがある職務だと感じています。

入庁したきっかけは？

福島市で、市民の縁の下での力持ちとなり、より、地域の発展に繋がるような仕事がしたいと思うようになりました。



仕事のやりがいはどこなところ？

私たちが明治時代などの戸籍を参照しているように、現在私たちが記載している戸籍の内容は、何十年先も残され続けていくものです。戸籍は一人ひとりの身分関係を証明する重要なものなので、やりがいを感じるのと同時に、正確な処理が求められる重大な職務であると感じています。

■業務内容

0歳児クラスの担当をしています。食事、排せつ、着替えの援助など、子どもたちの健やかな成長のサポートを行っています。また、子どもの体調の変化や1日の行動等をよく観察し保護者の方と連携することで、安心・安全な保育に取り組んでいます。

■キャリア(異動履歴)

▷ひらの認定こども園 4年

Schedule

1日の流れ

7:00 子ども受入、健康確認
9:00 出欠確認
9:30 午前おやつ
10:00 散歩、戸外遊び、製作など
10:50 給食
12:10 お昼寝、連絡帳記入、製作準備、会議、掃除
午後おやつ
15:00 好きな遊び
15:30 延長保育
18:00 戸締り、片付け
19:00 終業

※上記のうち7時間45分のシフト勤務

担当している業務は？

月齢による成長の個人差が大きいので、一人ひとりの生活リズムに合わせた丁寧で温かい援助をすることを心がけています。また、保護者支援も保育士の大切な仕事であるため、頼られる保育士を目指し専門性を高められるように学んでいます。



仕事のやりがいはどこなところ？

一番のやりがいは、子どもの成長を感じられるところです。寝返りができたばかりの赤ちゃんがお座りができ、ハイハイができるようになっていった成長の過程を見守ることができるのはとても貴重で嬉しい経験です。また、どんな時も子どもたちの笑顔の思い浮かべると頑張ろうと思えるのも、この仕事の素敵なおところだと思います。

仕事で大変なことは？

成長、性格、好きな物等が子どもによって異なるため、一人ひとりに合った遊びを考え、働きかけることです。そのため、普段から子どもの姿をよく観察することや、経験豊富な先輩保育士にアドバイスをもらうことを大事にしています。



プライベートと仕事の両立のために工夫していることは？

休日はたくさん美味しいものを食べて、しっかり休むようにしています。プライベートでのリフレッシュを活力にして仕事を充実させるように心がけています。

保育士 国分 朋実 4年目(令和2年度採用)

こども未来部 ひらの認定こども園

福島市
NEWS
2023

1 令和5年1月13日に野球殿堂入り
が発表され、古閑裕而氏が特別
表彰で殿堂入りしました！

殿堂入りを、地域再生へのエール
として、福島市のまちづくりに大
いに活用し盛り上げていきます。



2 ふくしまシティハーフマラソンを
初めて開催しました！

福島の魅力を全国に発信し、ス
ポーツ文化の醸成、地域経済の
活性化を図るとともに、パラス
ポーツの推進による共生社会の
実現に寄与することを目的に開催
しました。



3 「納豆料理コンテスト2023」を
開催しました！

福島市は納豆の一世帯あたりの年間購
入額が6949円(2022年度)と、4年連
続の日本一となりました！これに伴い、
市内の飲食業界や観光の活性化、納豆
の消費拡大、さらには「納豆のまち・
福島」のPRにつなげています！



4 「共働き子育てしやすい街ラン
キング2023」で東北1位、全国
8位に選ばれました！

「子育てするなら福島市」を目指して待
機児童の解消をはじめ、様々な子ども・
子育て支援施策を展開しております。
令和5年7月19日には、日本子育て支
援協会が選ぶ「第4回日本子育て支援大
賞2023(自治体部門)」を受賞しました。



Web版パンフレットでは、
部署の職員のインタビュー
や仕事の様子を動画で見
ることができます。

